

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

リハビリテーションを実施されている皆様へ

『掌側ロックングプレート術後の橈骨遠位端骨折患者に 対するクリニカルパスに合わせた目標設定の効果』について

(1) 研究の目的

リハビリテーション部では、過去に橈骨遠位端骨折術後に作業療法が行われた患者さまの関節可動域、握力・ピンチ力、日常生活における困難感の評価を利用して、研究を行うこととなりました。この研究は、リハビリテーション分野におけるリハビリテーションの質の向上を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

(2) 研究対象者について

2017年4月1日から2020年5月31日までに橈骨遠位端骨折術後に当院整形外科に通院され、作業療法が実施された整形外科患者様です。

(3) 研究実施期間

承認日から **2026年** 12月31日まで。

(4) プライバシーの保護について

個人情報についてはID化を図りますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることは一切ありません。

(5) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心下さい。

※ この研究の対象となられる方で『ご自身の検査結果を除外してほしい』と望まれる方は、
下記問い合わせ先までご連絡下さい。

問い合わせ先

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

住 所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

電 話：045-366-1111(代表)

担当者：リハビリテーション部 作業療法士 佐々木洋子 PHS：8286

変更日：2025年11月28日